

「本人の選択と心構え」 を支援するケアマネの役 割について

令和6年5月16日（木）

沖縄県介護支援専門員沖縄市支部 研修会

産業交流センター



「医療・看護」「介護・リハビリテーション」「保健・福祉」

専門職によって提供される専門サービスで、ケアマネジメントに基づき、必要に応じて一体的に提供されます。

「介護予防・生活支援」

介護予防は従来の要介護状態になるための介護予防ではなく、社会参加する機会を増やすことによる積極的な支援です。地域の中で継続して実施されます。

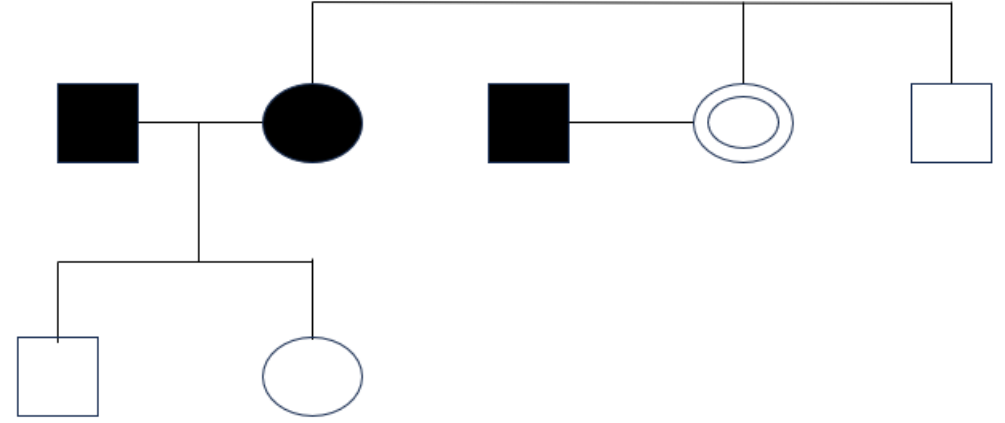
専門職は、本人の選択や心構えを支援する役割があります！

「本人の選択と本人・家族の心構え」

介護が必要となった場合にどのような生活を送りたいのかについて、本人及び家族がしっかりと考え、共に理解し、そのための心構えを持つことが重要となります。

事例検討：家賃が高く、引っ越しを余儀なくされたケース支援について

- T・Yさん（75歳）独居
- 夫が5年前に他界
- 年金月10万円（預金なし）
- 家賃6万5千円
- 要支援2（訪問介護で買い物支援）
- 地域のサロンに参加している
- 生活費に困ると、弟や甥・姪から借りている。以前は良好な関係であったが、その事もあり関係悪化が見られる。



《課題》

家賃が高く、数か月分滞納。受診も控えている（体調不良なし）。

《経過》

弟の住む実家に引っ越し予定であるが、本人・弟ともに消極的。家具等を売却する為に、見積もりしてもらったが安いからと断った。引っ越すとサロンの仲間との交流が無くなる、夫との思いでの場所から離れるのは嫌との不満あり。

グループワーク①

本人の選択をどう支援しますか？

グループワーク②

本人・家族の心構えをどう支援しますか？

グループワーク③

どのような、インフォーマルサービス・介護保険以外のサービスを活用しますか？

お疲れ様でした。

ご清聴、ありがとうございました。